

鏡野町総合計画審議会（第6回） 議事録

日時：令和8年2月6日（金）

午後1時30分

場所：鏡野町役場庁舎3階 特別会議室

1 開 会

副町長より挨拶

中村会長：今回が最後となる。詰めという位置づけ。出た意見については、極力最後の詰めの部分で反映していただけるということで、各委員ご意見を頂戴したい。

2 協議事項

①基本計画（案）について

～事務局より説明～

中村会長：改めて意見はあるか。

田中委員：丁寧に修正いただき、わかりやすい資料に感謝する。伝えていた修正箇所はこれ以上申し上げることはない。障害の害の字をどうするのか。については、統一の見解はないと思っている。障害者の害をひらがなにしていくなすべきという議論がある中で、法制度等公文書の中では害の字をそのまま使っていく。言葉が与えるインパクトが大きいので、漢字をひらがなにしていくなべきということで広まっていったかと思う。ひらがなにしたことでも、多様な意見があるので、自治体ごとに判断しながら使用している。どうするかは事務局一任でよいと思う。法律名などは解釈が違ふと思うので意見としておく。

事務局：もう一度事務局でも考えていきたいと思う。この場での回答は控えさせていただく。

小椋委員：消防と防災について、昨日火災があり、消防団員が減少しているのもそうだし、自主防災組織の立ち位置として、何をするとどこまでできるのか。ということについて、明記するべきなのではないか。どんな訓練をするべきか、どこまでできるのか。団員がいないとポンプの活用ができない。自主防災組織で活用できるなら初期消火に活用できる。全地区設置した先のことをどこまでできるのか、どこかに明記する必要があるのではないか。総合計画がよいのか、担当課の計画でよいのかはわからないが、大事なことかと感じた。

事務局：貴重な意見として、事務局、担当課と協議し、どのように期待するのか、計画に明記するのかなど検討する。

前田委員：子育て支援の対象は何歳くらいまでか。

事務局：おおむね 18 歳までを対象としている。

①総合戦略（案）について

～事務局より説明～

中村会長：ご意見ご質問あるか。

金島委員：前回質問した内容について、前回資料の 7 P で、要介護認定率の目標値が高い低いということが少しわかりにくいのではという部分はどのようなになったか。

事務局：戦略 11P のところで担当課と協議して、そこは限定的な数字になるのではないかとということで、「健康だと思う町民の割合」ということで目標を変更させていただいた。介護認定率ということを目標にしないように変更した。健康を確保して鏡野町に住み続けたいと思っていただける指標としている。

金島委員：あくまでも自分がそう思うだけであって、それが本当に健康かどうかはわからないのではないかな。

田中委員：いろんな解釈の仕方があるかと思う。要介護認定率から変更することは良いかと思う。社会保険料としては、税金も投入しており、申請抑制をしている可能性も疑われることもあるので、好ましい指標ではない。要介護認定を扱うなら、介護予防の改善率が良いかと思う。ただ、数値を追っていくのに問題もある。健康だというとらえ方が人によることも考えられるが、WHO が主観的な健康観を意識していることが広がってきていることもある。身体的な健康観だけではなく、メンタルとしての健康観もあるため、主観でよいのでどう感じているかは、ひとつの指標としてとらえられるのではないかな。主観で構わないといった言葉を添えるとより良いのかと思う。

金島委員：とてもわかりやすく説明いただき、腹落ちした。

事務局：アンケートを取る際にも注意したい。

中村会長：「女性に選ばれる」を、「子育て世代に選ばれる」としたことも大きな変更かと思う。違和感なければこれでいければと思う。

交流人口に関するところで、交流人口は観光なども含んだ数字なので、90 万人を下回ることではないと感じていた。今回、関係人口としていただいたことで、総合戦略も大部分は交流人口とつながりが強いが、ふるさと納税など関係人口にした方が良い部分もあるので、変更されて良かったかと思う。

戸田委員：総合戦略 10P のところで、②の KPI に近所づきあいをしている町民の割合という数字が出ている。令和 6 年は 55.8%を 64%に引き上げようということだが、付き合いをしている人が 64%、していない人が 36%という捉え方でよいのか。

事務局：そのとおりである。

戸田委員：概算で町民約 1 万 2 千人として、1 地区 4 戸～5 戸の方が近所づきあいをしていないことになる。県や全国的にはどういう位置にあるのか。鏡野町に住み続けたいという方が 86%くらいで、12 年で 90%となっている。鏡野町に住み続けたいが、近所づきあいはしないということになる。その場合、災害や何かあった際の共助がどうなるのか。

中村会長：共助が強調されている中で、この方向性と KPI の水準がどうなのかという質問かと思う。何か情報はあるだろうか。

事務局：近所付き合いについては、町民アンケートの数字で近隣の同様の数字は持っていない。現状は 64%に近づけ、支えられる地域を目指していきたいと考えているのだが、他と比べてどうかはこの場では回答できない。

中村会長：計画では現状値よりも増やしていくという話であるが、事柄自体が望ましい水準ではないという指摘には、町として真摯に受け止めていく必要があると思う。

小椋委員：こういった付き合いをいうのが主観となっている可能性がある。アンケートの聞き方にもよる。それだけで判断は難しい。

中村会長：判断は難しいが、KPI を設定するにあたって限界がある。現状をみるための数値。

事務局：KPI の設定に添ったアンケートの取り方を工夫していきたい。

中村会長：こういう意見が出たこと自体を町として共有していただきたい。

数値が上がったからよかったというだけではなく、絶対的な数字の良し悪しも含めて考えてほしい。

田中委員：KPI は経年比較のために使いたいということか。

鏡野町の人口減少や地域の機能を維持していくことの難しさを感じる。地域に住んでいる人たちも、近所に人がいないから付き合いなくなったという問題も出てくる。

支え、支えられるというテーマからみると、支えられながら生活できている。といった必ずしも近所にこだわらなくても良いのではないかと感じた。

新たに加えてみることや、見直しの中で次回生かしていただくのはどうか。

棕代委員：近所まわりについて、地域活動や地域行事に参加していることや、協力的ではない世帯など、近所づきあいという言葉を変えるのであれば、そういった視点でも良いのではないか。

中村会長：今後、政策効果を考えていくにあたって、こういった意見を共有いただきたい。

事務局：活動や行事への参加割合もとっている。引き続きとっていきたい。

近藤委員：近所というのは限定されるので、地域と広い範囲にした方が良いのではないか。支えあえる地域づくりにもなる。近所では付き合いはないが、広く付き合いのある人もいる。

中村会長：関係人口の考え方が、同じ土地で同じ生活だけでなく、薄いけれど支えあっているというものもある。近所という言葉にとらわれないというのは、現代の地域社会を表しているのかもしれない。

②その他

- ・ 今後の流れについて
 - ・ パブリックコメントについて
 - ・ 答申について
 - ・ こども版概要版について
 - ・ 用語集について
 - ・ 町長挨拶について
 - ・ 空白部分について
 - ・ 冊子の送付について
- ～事務局より説明～

中村会長：意見はあるか。

田中委員：こども版の作成についてはすごく良いと思う。岡山県に限らず、いくつか審議会に委員として参加しているが、どこもやっていないので、とても良いと思った。子どもは思っている以上に

発信力が強い。ぜひ、こども版の中に、こどもにこれを見たら、ならったら、こういうことをしてほしい。ということを書いてほしい。「今日聞いたことを周りの大人 10 人に話してね」のようなチェックリスト式にしてみると動いてもらえないだろうか。行動を促すことを考えてほしい。

この計画自体の進捗管理をどうしていくのかを示すページはつく予定があるだろうか。何年たったところでどういうメンバーでどういう場で中間評価をするのか。など。

事務局：基本構想の総論で明記されている。3 回目のときに説明させていただいた。また少し変わっているので、合わせてこのページも送らせていただく。

金島委員：今回 10 年計画といわれており、10 年が長いと感じる。10 年あったら、何とかなるだろうと
ならないか。

事務局：将来像は 10 年だが、計画としては 5 年で見直す予定である。

中村会長：毎年評価はしていくことになる。長い方向性を定めて毎年評価していくことで組み合わせて
いる。

山根委員：こども版はとても見やすくってとっつきやすいと思う。一般家庭にはこの冊子がくるのか。

事務局：概要版を全戸配布する予定である。

山根委員：こども版のとっつきやすいものの方がよいのではないか。

事務局：そのようなご案内もできるように検討する。

金島委員：HP で分厚いものが見れて、みなさんにはこのくらいのものの方が良いのではないか。

米山委員：こども版は見やすくってわかりやすいと思う。作成途中ということだが、小学校高学年から幅広い
ところでみられると思う。難しい漢字などに留意いただきたい。

杉山委員：こういったこども向けのものが良いと思う。非常に見やすくなっているので、進めていただき
たい。

3 連絡事項

4 閉会